

平成15年12月20日 一所
武出木 領用 平金用

号着局 60行 任务

第発行者

まちの安全

前回

戸田充易

世界一

安全であつたはず

の東京のまちが、近ごろ、

物騒になつておもした。

笠置、ひつくり、意溢、

毎日、新聞を厭わしていま

す。わたしたちの世田谷も

23区の中でワースト・ワン

の不名誉なレッテルを貼ら

れ、熊本区長、自ら先頭に

立ち、対策を練つていると

ころです。

玉川町会内でも意溢やピ

ッキングの被害などが続出

し、少しでも犯罪を防止す

るべく立ち上りました。

四守りよう わたしの好

きな街だからこの横断幕を

テッカーチョードを自転車につけて

町内各所に掲示し、防犯ス

ロールのボランティアを募

り、町民の協力をお願いし

たりしています。

玉川警察署及び玉川防犯

協会との連携を密にして、

講習会の実施など、情報を

共有して、安全で安心して

住めるまちを目指していま

す。(玉川町防犯推進委員長)

瀬田の町に自転車は似合う
橋下良牛空正しつけと安全
園田千白高橋典子永田町
もりがたり

錢木武一

回覧

我が家には、小学校に通

う二人の子供がいます。こ

の付近は、幹線道路に囲ま
る一府十二省と決めてから

最近ようやく納まつた

日本政府は西台い

うこの頃は、まだかと話も

っぱく注意しています。で

もこの頃は、まだかと話も

明かず、イライラアーンアーン

の毎日です。

○担当は此のワシジヤ

耳にするだけに、子供のし

つけは、小学生までだと思

います。

親の口の回、子供はい

つも心配だから安全には注

意をするし、しつけをして

いくのと思っています。

それが責任。

小学生にかかる事件を

うことが第一の条件、買う

時に高価でも優れた機械を

選ぶこと、そして、大切に

手入れをひとと教えていま

す。

マナーも、しっかり。

柄田の町も自転車で変わら

かな。

守ろうよ みんなの好きなまちだから

前回

翁木昌八

ごみと循環型社会

前回

千野昭江

防災訓練に思う

前回

翁木昌八

危険性

今、南関東直下型地震の

危険性

が呼ばれているが、

地域住民の安全確保等の対

応がどの様にとられていろ

かを考えてみると、(一)避難

場所の確認。(二)火事、けが

先日テレビや、水の都ベ

ネチアがゴミに埋もれる危

機を教う為、イタリアの女

性科学者ウディア・バステオリ

さんの奮闘の日々を見た。

ゴミを100名自然に灰し、燃

やしても有害物質を出さな

い生分解性のアラスチックの

技術開発に成功。だが、徹

底した分別が必須で最終的

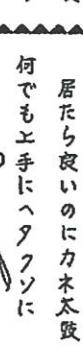
には、一人一人の関心と責

任ある行動しかない。

繋がりはじめて減り

続け、空気は勿論、水、食

糧の汚れは留まる所を知ら



ひろば ご希望の方は出版所においてありますのでどうぞ



(実行委員長)

大切な社会を実現させねばと
一切に思う。

郷土紹介

五川消防署 用賃派出所



なる。同時に新町と奥沢に
出張所が出来て五川消防署
は一署二出張所、職員七一

今、五川台一丁目にある
五川消防署用賃派出所、こ
の前の道は旧大山道で、昭
和四十四年まで五川密車が
路面を走っていた。

ここに、世田谷消防署の
用賃機関員派出所が出来た
のは昭和十年十月、ポンア
車一台と機関員二名が配置
された。この機関員派出所
は第二次大戦中の昭和十七
年、用賃消防派出所となり
昭和十九年には消防出張所
と次々に昇格していった。

そして戦後、昭和三十二
年八月、用賃出張所が世田
谷消防署より分離独立、新
たに五川消防署として五川
地域の護りを受け持つ事に

名の規模で発足する。
次いで戦後復興が進む中
で、昭和二十四年八月、こ
こでは手狭となつた為、現
在地中町三丁目に五川消防
署の新庁舎が完成、移転す
る。以後、用賃の旧五川消
防署施設は用賃派出所と云
う形で引き継がれ、五川消
防署は本署、三出張所の組
織となった。

用賃派出所の建物は老朽
化が進み、昭和四十年、鉄
筋二階建に建替えられ、そ
の後一部増築も行われて、
現在、ポンア車二台、救急
車一台で、日友、私たちの
町の安全を見守っている。
(飯田)

現在、ポンア車二台、救急
車一台で、日友、私たちの
町の安全を見守っている。
(飯田)

私のふるやこと
用賃監査長 保原富子

「ふるさとは遠きにあり
て思うもの」と、折々、過
ぎし日のことや思い出多い
ところを、ふとなつか
しむことがあります。

用賃派出所に着任し
て三年目の今、地成の
いろいろな行事に招か
れ感じることは、本当
のふるごとにここには
あるのだと、いふことで
す。ひとりひとりがこ
のまちを誇りに思い、
未采に向けてこどもたちも
夢をえがけふるなどが。

そんな用賃派出所の地域が
とてもうらやましく、そこ
で働けることの喜びを感じ
ています。

自然にめぐまれた豊

かな環境のなかで、地
域を守るひとびとがい

ては、大変しあわせな
日々が、今まさに私にとって
環境にあります。

自然にめぐまれた豊

かな環境のなかで、地
域を守るひとびとがい

ては、大変しあわせな
日々が、今まさに私にとって
環境にあります。

わが故郷

綾ゆたかな歴史のあるま
かな環境のなかで、地
域を守るひとびとがい

ては、大変しあわせな
日々が、今まさに私にとって
環境にあります。

自然にめぐまれた豊

かな環境のなかで、地
域を守るひとびとがい

ては、大変しあわせな
日々が、今まさに私にとって
環境にあります。

創立五十周年を迎えて

五月十周年 小松弘道

本年度、瀬田小学校は開

校五十周年を迎えました。

昭和二十九年「この瀬田の
地に学校を」と願う、多く
の方々のご努力により本校
は誕生いたしました。

あれから五十年、人と人
との繋がりが済々になつた
といわれる今日、私たち
大人も、情報化社会
の中で心を迷わせ、子
育てに自信が持てなく
なることが多々あります。

そんな頃、学校で学ぶ
子ども達の姿から教えられ
ることがたくさんありました。

多くの皆様のお話をいただ
き、五十年間の足跡を辿り
ました時、いつの時でも人
は迷い悩んでおりました。

祝

空気排ガスが苦手

横川

世田谷でも交通安全や交

通安全問題に加え、自動車
くとも達のために、自ら
が地成の一員として、「人

を愛し、地域を愛し、学校
を愛する」ことに、主体的
に取り組まれております。

そんな姿は、子を持つ
つ親になつた今、私たち
が成すべき事は何か
を示唆していろよに
思えます。

子どもたちは、人と人と
の係わり合いの中で輝くこ
とを胸にとどめた五十周年
でした。



年三回発行のミニコミ紙

ひろばも本号が60号、20歳
になります。昭和58年の創

刊トツア記録は「瀬田小学
校三十周年おめでとう」で

した。そして今回、瀬田小
学校五十年実行委員長小松さ

んの「創立五十周年を迎
えて、本号のテーマは安

全安心。間もなく、火の用
心の拍子木の音が路地に響
きます。まちの安全は警察、
消防、区の行政と私たち地

域を守り続けていることに
受け継いで、さらに熱く地
域を守り続けていることに
意を表します。

何よりも地域を愛し、出
で思ふもの」と、折々、過
ぎし日のことや思い出多い
ところを、ふとなつか
しむことがあります。

用賃派出所に着任し
て三年目の今、地成の
いろいろな行事に招か
れ感じることは、本当
のふるごとにここには
あるのだと、いふことで
す。ひとりひとりがこ
のまちを誇りに思い、
未采に向けてこどもたちも
夢をえがけふるなどが。

そんな用賃派出所の地域が
とてもうらやましく、そこ
で働くことの喜びを感じ
ています。

自然にめぐまれた豊
かな環境のなかで、地
域を守るひとびとがい

ては、大変しあわせな
日々が、今まさに私にとって
環境にあります。